



NIPPON BEARING

7月21日付 日本経済新聞広告 解答と解説

【問題】世界的に拡大する電動二輪車市場。予測される主要市場は中国、アセアンとどこ？

①米国 ②日本 ③インド

【答え】③インド

【解説】

世界における二輪車の年間需要は、およそ5,000～6,000万台とされます。最大の市場はインドであり、中国とアセアンがそれに次ぐ市場規模です。

ちなみに日本と米国の世界市場占有率は、それぞれ1%程度。しかしその反面、日本の複数の二輪メーカーは、長く世界の二輪マーケットを席捲してきました。日本製のエンジン二輪車が、50%以上のシェアを記録しています。

100年に一度の変革期とされ、急速に電動化が進む自動車と同様に、二輪車も電動化が加速中です。「カーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）」を目指して、各国で四輪・二輪の電動化を促進しています。

インドでは電気自動車・二輪車などを普及するため、エコカー普及政策（FAME II：Faster Adoption and Manufacturing of (Hybrid &) Electric Vehicles in India Phase II）を実施しています。これは電気自動車およびハイブリッド車、電動二輪車・三輪車など、対象車両を購入すると補助金が支給される政策。この政策で、インド国内の二輪車電動化はいっそう促進されるでしょう。

二輪車は自動車よりも技術的な参入障壁が低いということもあり、各国でベンチャー企業が相次いで電動バイク開発へ参入。中国でも複数の有力な新興企業が誕生し、活動領域を広げています。

国を挙げて電動化を目指す巨大市場インド、技術開発が活発化している中国、そして成長市場のアセアン。今後、この3つのエリアが核となって、電動二輪車市場をけん引していくと考えられます。

これまで、世界市場でトップシェアを誇ってきた日本製のバイク。電動二輪車市場でも、同様の存在感を示しめすことができるのか、その動向に期待が集まっています。

■参考資料

富国生命保険相互会社（フコク生命）webサイト マンスリーエコノミックレポート 2021年9月号 より

一般社団法人日本自動車工業会 webサイト 特集記事 2021/12/28 より

株式会社矢野経済研究所 プレスリリース 2021/06/16 「世界の二輪車市場に関する調査を実施（2021年）」 より